

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 19 日 更新

事務事業名		介護保険特別会計繰出金等事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施 策	7 高齢者の自立と支援体制の充実				所属課	高齢者支援課	担当者名	木場田 可織
	施策の柱	26 介護保険サービスの適切な提供				所属班	介護保険班	(内線)	1171
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 4	事業連番 11199	根拠法令	介護保険法	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	○平成12年度から介護保険制度開設とともに介護保険法第124条(市町村の一般会計における負担)に基づき開始された。 ○介護保険事業の健全な運営を図るため、介護保険特別会計に対し、介護給付費に対する法定負担分と保険料で賄うことができない事務費等分を繰り出す。 【法定負担分】 介護特別会計の (1)介護給付費の12.5%、 (2)地域支援事業(介護予防・生活支援サービス事業)費の12.5%、 (3)地域支援事業(包括的支援事業・任意事業)費の19.25% 【事務費等分】 介護特別会計の (1)総務費 及び (2)地域支援事業(特定事業)費等の全額
【業務の流れ】	繰出金の支払(年4回)
【主な予算費目】	補助金、繰出金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) ○介護保険特別会計への繰出しを行い、費用を適正に負担することにより、安定した介護保険事業の運営に努めた。 ○介護基盤緊急整備特別対策事業により施設整備を行う2事業者に対し、補助を行った。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 法定割合に基づく負担及び事務費等の必要額について、介護保険特別会計への繰出しを行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 繰出金額(法定負担分)	千円	介護給付費等の増に伴う介護保険特別会計への繰出金等の増
イ: 繰出金額(事務費等分)	千円	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 合志市介護保険事業		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア: 介護サービス利用者数 人
		→ イ: 要支援・要介護認定者数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 介護保険事業の運営が健全かつ円滑に行える		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア: 介護保険認定者の利用率 %
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 介護保険事業を健全かつ円滑に運営することは、この事務事業の上位基本事業「高齢者支援体制の充実」の意図「高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる」に結びつくので、その成果指標「介護保険認定者の利用率」とした。利用率は、全国・県ともに平均80%である。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	千円	655,738	658,022	681,459	676,313	667,999	669,168	671,187	673,211	
	イ	千円	36,364	39,795	47,241	46,881	63,742	63,934	64,127	64,321	
② 対象指標	ア	人	2,349	2,442	2,539	2,510	2,639	2,744	2,852	2,965	
	イ	人	2,750	2,839	2,931	2,882	3,026	3,124	3,225	3,329	
③ 成果指標	ア	%	85.43	86.01	85	87.09	85	85	85	85	
	イ										
投資 入費 量	事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	25,982	26,605	25,852	27,085	27,694	24,883	24,883	
		都道府県支出金	千円	18,868	32,436	73,120	37,232	98,857	12,891	12,891	
		地方債	千円								
		その他	千円	127	207						
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	654,347	657,989	690,240	682,668	690,532	696,097	698,308	700,526
	(A)事業費計	千円	699,324	717,237	789,212	746,985	817,083	733,871	736,082	738,300	
		(A)のうち指定経費	千円	692,102	697,817	728,700	723,194	731,741	733,103	735,314	737,532
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	4	1	4	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	60	480	100	453	200	200	200	200
		(B)人件費計	千円	234	1,826	398	1,649	796	796	796	796
トータルコスト(A)+(B)		千円	699,558	719,063	789,610	748,634	817,879	734,667	736,878	739,096	

事務事業名	介護保険特別会計繰出金等事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 過去3年間の実績値及び介護保険事業計画を参考に算定しており、達成見込みである。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 日常生活を営むために要介護（要支援）認定を受け、介護サービスや介護予防サービスを利用している高齢者数としているが、一部は継続的なサービスを必要とせず、住宅改修や福祉用具購入のみの人もいるため、成果指標85%の設定は妥当である。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 今後も高齢者人口の増加に伴い、介護認定者数及び介護サービス給付費の増加が予想される。介護保険法に一般会計の負担割合が定められているため、繰出金も介護給付費の伸びに合わせて年々増加することが想定され、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 繰出金支出事務に係る必要最小限の業務時間数である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公的保険制度である介護保険事業（特別会計）の運営に必要な費用を法に基づき適正に負担している。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 介護特別会計への繰出しは、法に定められた市が行う事務である。

3 評価結果の総括（CHECK）

介護保険事業（特別会計）の運営に必要な費用を法に基づき適正に負担した。合志市の介護保険事業（特別会計）の運営に必要な事業であり、今後も適正に取り組んでいく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												